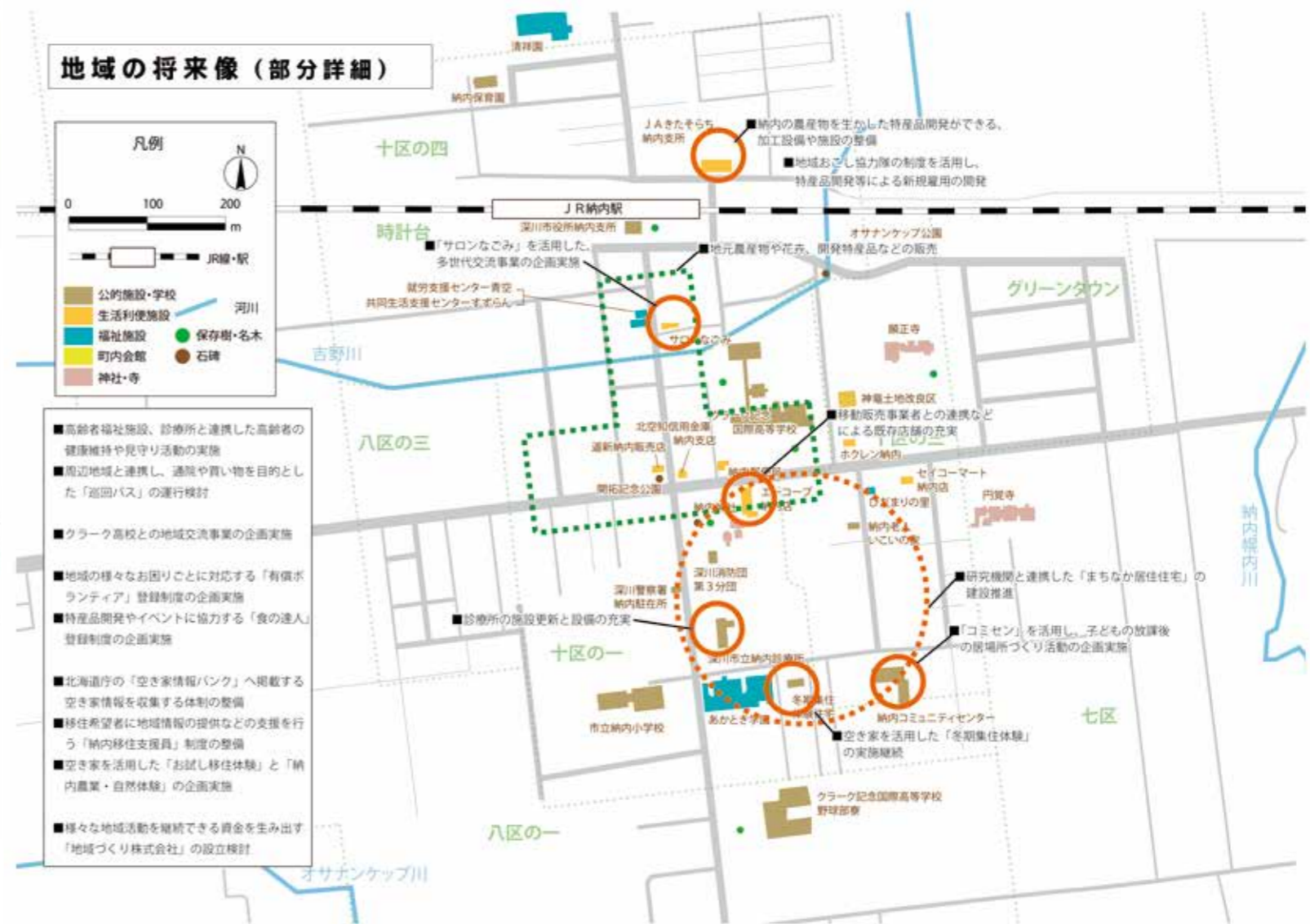


地域の将来像（全体）



地域の将来像（部分詳細）



各家庭に配布する「納内ふるさと写真集」や「おさむない四季便り」ホームページを通じ、納内の隠れた魅力や四季折々のまちの様子を多くの人に知ってもらい、ウォーキングツアーの実施や「納内ふるさと眺望広場」の整備、「庭木や花いっぱい風景づくり」運動の実施などで、訪れて魅力を感じてもらえるまちにしていきます。



元気なお年寄りも参加し、地域の様々なお困りごとに対応する「有償ボランティア」登録制度や「食の達人」登録制度などの人材バンクをつくることで、「生涯現役」のまちにいきます。

将来像のイメージ



農家の働き手、担い手を受け入れる体制の整備や、農業技術をもった人材を育成する仕組みの整備などを通じて、規模拡大にも対応できる法人化などの取組を支援し、また、花嫁募集活動や農業女子の体験受け入れなどを通じ、歴史ある納内の農業を将来に引き継げるまちにいきます。



園芸作物の栽培チャレンジや、農産物を生かした特産品開発などを通じ、通年で収入の得られる農業のまちとし、納内独自の直販所を持つことで、納内の農産物、特産品の知名度を高め、農業のブランド力のあるまちにいきます。



福祉施設、診療所と連携し高齢者の見守り活動を充実するほか、「まちなか居住住宅」の建設、診療所の施設更新と設備の充実、移動販売事業者との連携などによる既存店舗の充実、周辺地域と連携した「巡回バス」の運行などを通じて、年をとっても安心して納内に暮らし続けられるまちにしていきます。



「サロながみ」を活用した交流事業のほか、クラーク高校との地域交流やこどもの放課後の居場所づくり活動を通じ、子供からお年寄りまで多世代が触れ合えるまちにいきます。

